



2025 年 6 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
(コード：6574 東証グロース)
問合せ先 執行役員 藤本 光
(TEL：03 (3770) 1190 (代表))

持株会社体制への移行に関する検討開始および組織体制改革プロジェクト発足 に関するお知らせ

当社は 2025 年 6 月 30 日開催予定の定時株主総会において、発行可能株式総数の増加ならびに目的条項の追加を伴う定款一部変更を付議しております。

本日において、今後のグループ構造および財務戦略の基本方針を下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 持株会社体制への移行検討開始の背景と目的

当社は、グループ全体の持続的な企業価値向上を目的として、事業運営を担う事業子会社と資本政策・財務戦略を担う持株会社機能を明確に分離するホールディングス体制の採用を検討することを決議いたしました。

今後、ネイル事業（FASTNAIL）を含む事業子会社群（株式会社コンヴァノコンサルティング、株式会社シンクスヘルスケア、虎ノ門キャピタル株式会社 ほか）は、日本国内における安定的なキャッシュフロー創出を担います。本社持株会社は、資産運用、為替リスク管理および非円建て資産管理を統括し、インフレ耐性と資産防衛を重視した司令塔機能を強化します。これにより、当社は従来の利益追求にとどまらず、適切な希薄化コントロールを維持し、株主の中長期的価値を守る「現実的かつ機動的な資産防衛策」を講じてまいります。さらに当社は、最適な組織体制および財務構造の在り方を誠実に検討するために組織体制改革プロジェクトを発足させることを決議いたしました。

- **事業子会社群**：円建て事業による企業価値の最大化
- **持株ホールディングス会社**：非円建て資産によるバランスシート防衛

2. 持株会社体制移行後のグループ体制及び移行スケジュール

今後近時の物価上昇・為替変動を踏まえ、企業経営におけるインフレ耐性および通貨分散の重要性が一層高

まっております。体制移行後は、主要な事業会社を持株会社直下に位置付け、それぞれの事業会社が自律的に事業を推進していく体制とすることを検討しています。

なお、グループ体制及び具体的な移行スケジュールの詳細については現在検討中の段階であり、取締役会で決定後改めてお知らせします。

3. 財務戦略の再構築とインフレ耐性の強化

今後近時の物価上昇・為替変動を踏まえ、企業経営におけるインフレ耐性および通貨分散の重要性が一層高まっております。当社は、資産の一部を例えば暗号資産のようなブロックチェーン技術を使ったデジタルアセットで保全する戦略を検討しており、その前提として定款目的に「Web3・デジタルアセット事業」の追加を付議しております。本戦略は、円建て中核事業の成長に伴う購買力維持策、中期的なインフレ影響への緩衝措置として位置付けるものであり、将来的に財務諸表上で非円建て資産の比率が相対的に高く見える可能性があります。これは「円で稼ぎ、円の購買力を守る」財務防衛機能である点をご理解賜りたく存じます。

なお、人件費・販管費等がインフレ影響を受けやすい局面において、デジタルアセットをバッファーとして保有することは、事業継続性と財務健全性の両立に資すると判断しております。

4. 今後の見通し

当社は「事業で稼ぎ、構造で守る」企業体として、グループ全体の柔軟性・安定性および中長期防衛力の向上を目指します。今後、連結業績予測に修正が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上